

美唄市公営住宅建替え基本構想

第3回 市民検討委員会

北海道大学建築計画学研究室

2023年10月27日(金)

01. ワークショップで出たご意見

a. 公営住宅について

- 各住戸は、居間中心型、引き戸の採用、広い玄関など、移動に配慮した使いやすい間取りにしてほしい
- 冬の寒さへの対応、金融通報装置の使いやすさなど、設備を充実してほしい
- 除雪の負担を軽減するような配置や構造に配慮してほしい
- 現在は高齢者が多いが、多世代が住むことができる環境としてほしい
- 世帯人数の変化に応じて、住み替え可能なシステムと引っ越しの支援体制の構築を構築してほしい

b. 公園について

- 子育て世帯向けに遊具の充実した公園を整備してほしいが、堆雪場所に配慮してほしい
- ウォーキングしたくなるような公園がほしい

c. 商業機能について

- 色々な物が買えて利便性の高いスーパーを住宅の近くに配置してほしい
- スーパーに近接してバス停を設置してほしい
- 世代によって求めているものが異なり、ゾーニングや誘致する店舗の種類に工夫してほしい
- 衣料、雑貨等を扱う店舗、スーパー、居酒屋等を配置してほしい

01. ワークショップで出たご意見

d. こども向け屋内遊戯施設について

- 子どもの安全面を考慮して、年齢層と活動の違いに配慮してほしい
- 一時見守り、プレイリーダーの配置など、親世代がリフレッシュできる工夫をしてほしい
- 有料エリア、無料エリアの設定など、受益者負担の考え方に留意してほしい
- 公園は、豪雪地域ならではの工夫をしてほしい
- おむつやミルクの販売など、子育て世代への配慮をしてほしい

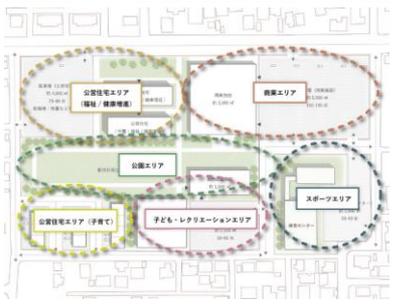
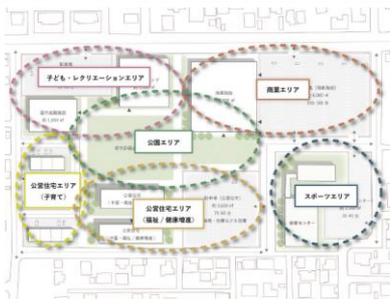
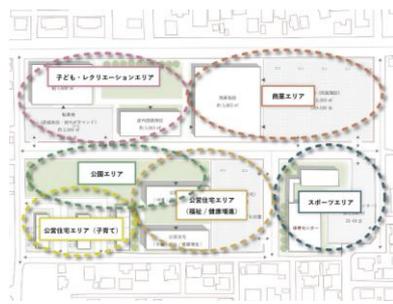
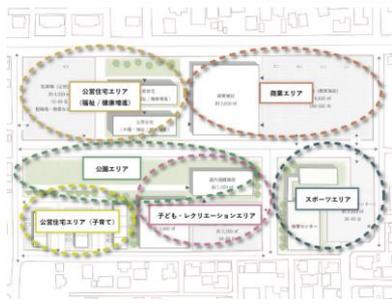
e. 屋内グラウンド・スポーツ施設について

- スポーツ施設には、既存施設との差別化が必要

f. 全体の配置について

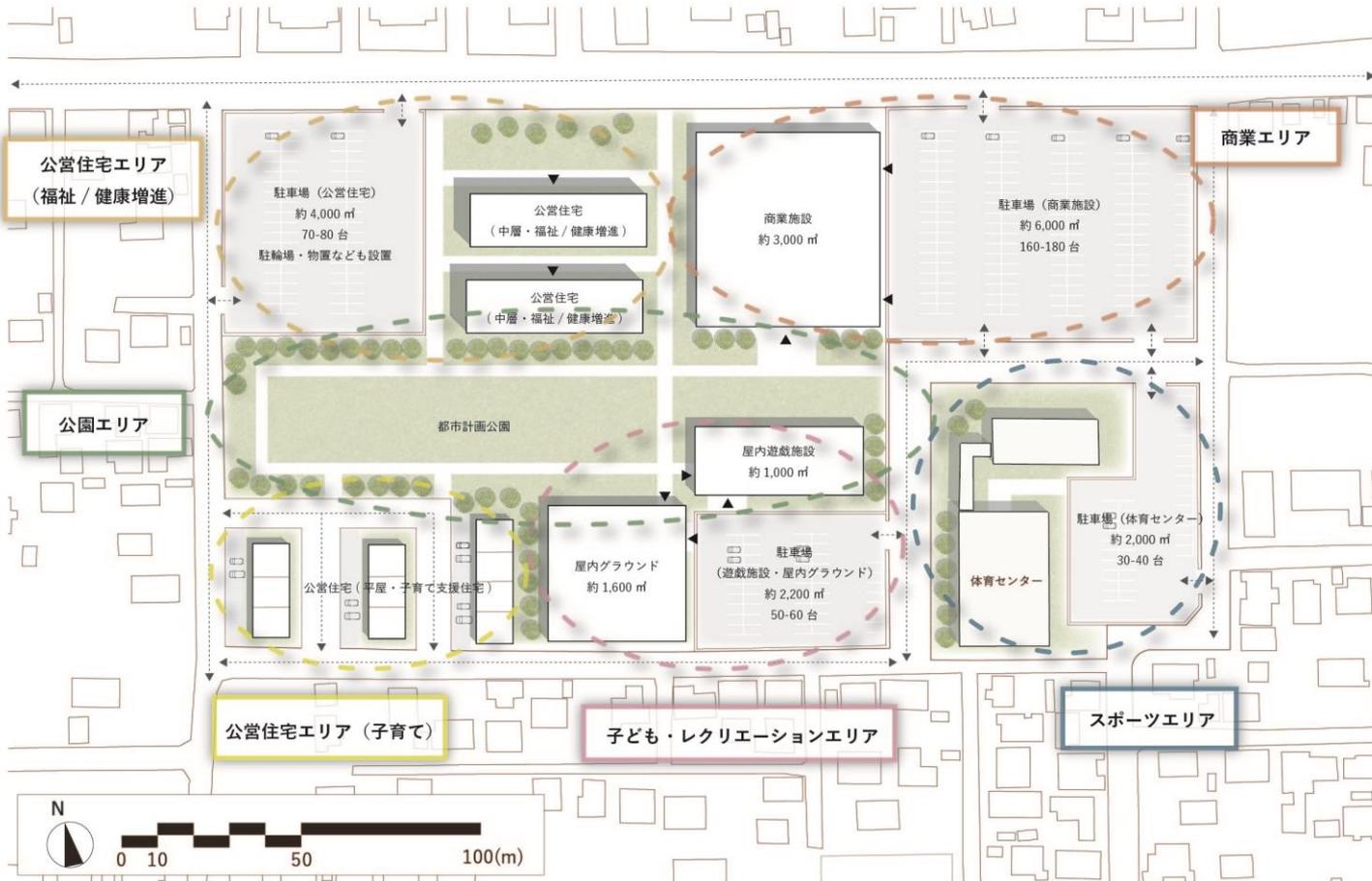
- 公営住宅とその他の施設の動線、引き込み道路に配慮してほしい

02.ゾーニング案比較表

		方針1：団地内幹線道路を配置せず、各施設へのアクセスは周辺道路からとする		方針2：敷地中央東西方向に団地内幹線道路を通し、各施設への主要アクセスとする	
		案 1-1	案 1-2	案 2-1	案 2-2
ゾーニング図	ゾーニング図				
	配置方針	居住エリアを西側， 人が集まるエリアを東側に配置	居住エリアを南側， 人が集まるエリアを北側に配置	居住エリアを西側， 人が集まるエリアを東側に配置	居住エリアを南側， 人が集まるエリアを北側に配置
	施設間の連携	高齢者向け公営住宅と商業エリアの近接性 子育て向け公営住宅と 子どもレクリエーションエリアの近接性を重視	商業エリアと 子どもレクリエーションエリアの 連携を重視(合築等の可能性も考慮)	高齢者向け公営住宅と商業エリアの近接性 子育て向け公営住宅と 子どもレクリエーションエリアの近接性を重視	商業エリアと 子どもレクリエーションエリアの 連携を重視(合築等の可能性も考慮)
	施設へのアクセス	周辺道路からのアクセスを中心とする ただし南側道路は主に公営住宅居住者の 動線として通行量をおさえる	周辺道路からのアクセスを中心とする ただし南側道路は主に公営住宅居住者の 動線として通行量をおさえる	団地内幹線道路からの アクセスを中心とする	団地内幹線道路からの アクセスを中心とする
	公園面積	約 13,450 m ² (うち、施設及び駐車場面積約 5,000 m ²)	約 13,000 m ² (うち、施設及び駐車場面積約 5,000 m ²)	約 11,900 m ² (うち、施設及び駐車場面積約 5,000 m ²)	約 11,900 m ² (うち、施設及び駐車場面積約 5,000 m ²)

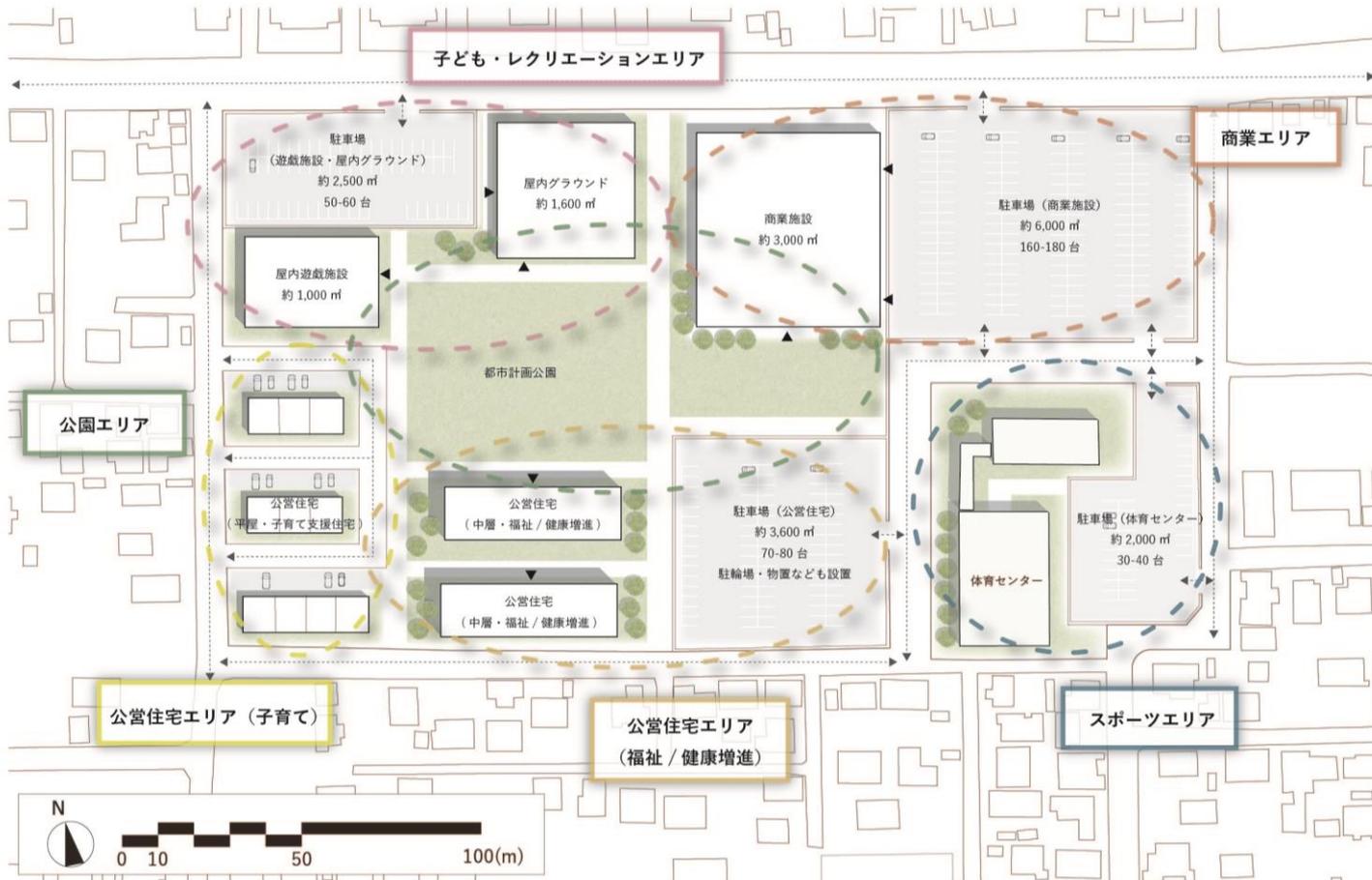
02.ゾーニング案 1-1

案1-1：周辺道路からのアクセス-居住エリア西側・人が集まるエリア東側



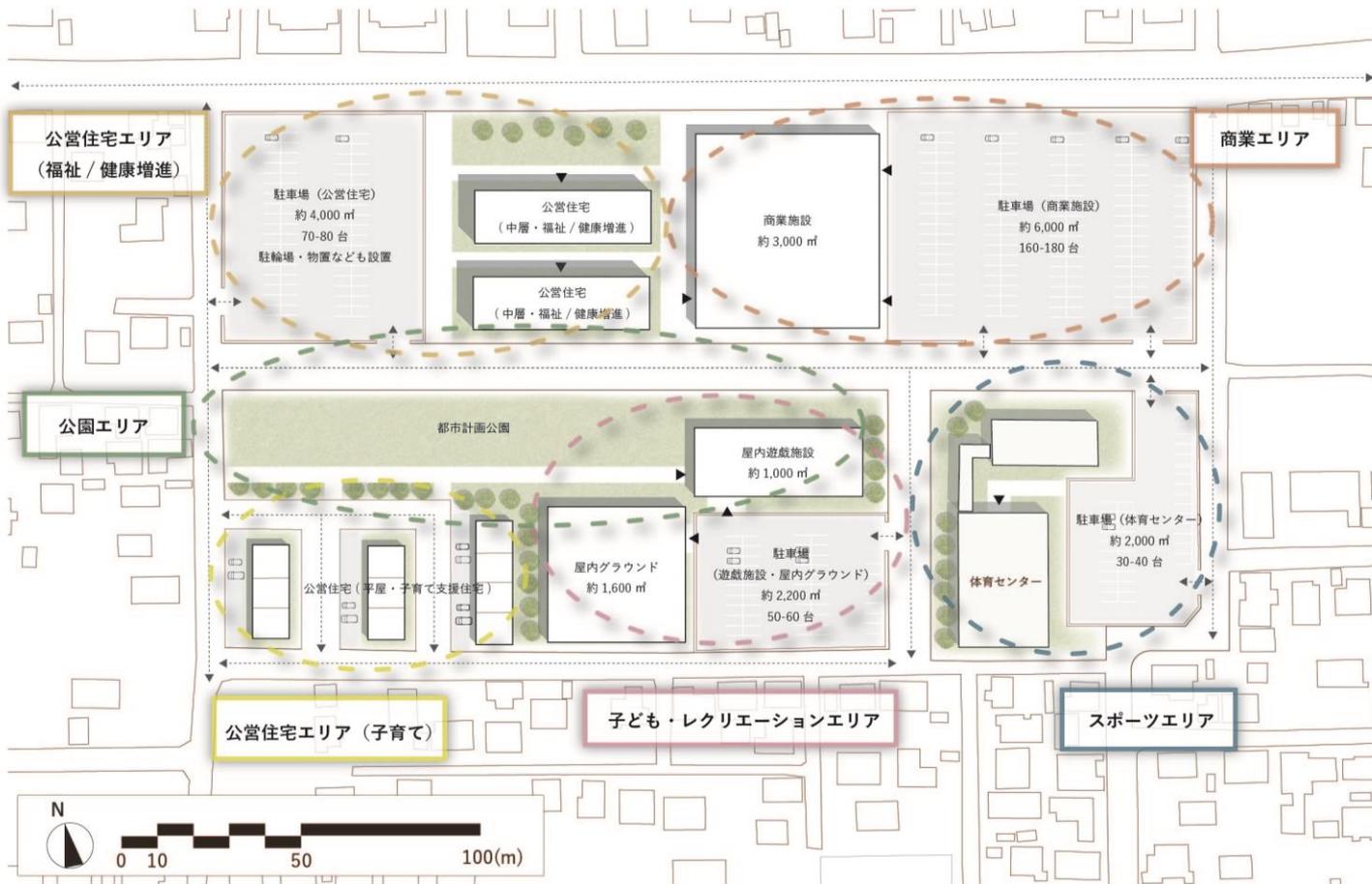
02.ゾーニング案 1-2

案1-2：周辺道路からのアクセス-居住エリア南側・人が集まるエリア北側



02.ゾーニング案 2-1

案2-1：団地内幹線道路からのアクセス-居住エリア西側・人が集まるエリア東側



02.ゾーニング案 2-2

案2-2：団地内幹線道路からのアクセス-居住エリア南側・人が集まるエリア北側

